

料金後納郵便

ゆうメール

毎月1回5日発行
令和7年5月5日発行
昭和30年5月20日
第三種郵便物承認



高岡商工会議所会報

たかおか

5

2025
May

NO.805



【特集】 新会長 抱負を語る

国宝瑞龍寺ライトアップ

新会長

抱負を語る

今年度、新しく就任した各団体の会長に抱負を伺いました



高岡商工会議所青年部

会長 藤田 和耕

株式会社平和合金

高岡市戸出栄町56-1 Tel.63-5551
座右の銘：行動無くして
成果なし

TAKE ACTION

～未来を創る先導者であれ～

高岡商工会議所青年部は、58年という挑戦と研鑽を重ね、今や全国でも有数の輝かしい歴史を誇る単会へと成長し、地域経済の発展の一翼を担う重要な役割があります。

令和6年能登半島地震は物流や、交通、家屋だけでなく、多くの人々の心に不安と傷を与えました。災害時でも事業継続可能な組織づくりはもとより、昨今の時代を取り巻く物価高、人口減少問題、事業所数の減少によるサプライチェーンの弱体化、空き家の増加や観光客の取り込みなどは、高岡のまちを活性化させるために克服しなければならない課題です。

これまで当会は、目まぐるしく変化する時代の中で、その時々課題を乗り越えるために果敢に「ACTION」を起こし、人には笑顔を、企業には繁栄を、まちには賑わいを創ってきました。そして、令和8年度には創立60周年という大きな節目を迎えます。今後も当会が地域の経済発展に欠かすことのできない、そして地域から求められる組織であるために、私たちが積極的に「ACTION」を起こし、同じ志を持つ仲間と共に成長することが、企業と地域を発展させるだけでなく、当会がさらに強固で魅力的な存在につながると確信しています。

自ら起こす「ACTION」は大きな可能性を秘めています。私たちが進んで行動する「未来を創る先導者」となり、ともに元気ある高岡を創り上げていきましょう！

●4月6日(日)総会が開催されました

高岡商工ビルにて総会が開催され、来賓も参加し約170名が参加しました。令和6年度事業計画・収支決算報告、令和7年度事業計画(案)・収支予算(案)が滞りなく承認され、清水直前会長から藤田新会長にバトンが受け継がれました。

藤田新会長は、「令和8年度には創立60周年という大きな節目を迎えます。地域経済発展に欠かすことができない、そして地域から求められる組織であるため、私たちが積極的にACTIONを起こし、私たちが進んで行動する「未来を創る先導者」となり、ともに元気ある高岡を創り上げていきましょう!」と挨拶。

今年度の事業計画案として、令和8年度に行われる60周年記念事業に向けた方向性や事業内容を決定し次年度に繋げる60周年準備特別委員会や事業継続力強化計画に着目し調査・研究を行い、自己・自社の災害に対するリスクを軽減し企業の発展に取り組む災害対策委員会等が新設されました。

〈今年度主要事業〉

- ◆自己の成長につなげる事業
- ◆まちづくりとブランディング事業
- ◆会員の事業継続力の向上事業
- ◆他単会との交流及び会内親睦事業



高岡商工会議所女性会

会長 河合 法子(再任)

北陸道路標識(株)

高岡市問屋町15 Tel.23-6535
座右の銘：ありがとう。
感謝の気持ちを忘れずに

〈今年度主要事業〉

経営、文化、教養、各種資質向上をねらいとした研修や講演会の開催／チャリティー事業の実施／県内女性会・一宮商工会議所女性会との連携・交流／会員増強運動および組織強化の推進

●4月14日(月)総会が開催されました

高岡商工ビルにて総会が開催され、会員27名が参加しました。令和6年度の事業報告および収支決算報告、ならびに令和7年度の事業計画案および収支予算案が滞りなく承認されました。河合会長は、会員への感謝を述べるとともに、「魅力ある高岡市の発展に貢献していきたい」と意気込みを語りました。また、令和7年度の事業として、チャリティー事業「ケントス高岡」の実施や友好団体との連携・交流などが承認されました。



高岡伝統産業青年会

会長 松原 宏尚

株式会社 ナガエ

高岡市荒屋敷278 TEL31-2777
座右の銘：率先垂範

伝産、総力戦

高岡伝統産業青年会は52年目を迎えました。今年度は、「伝産、総力戦」というキャッチフレーズを打ち立てました。当会が2013年から使用してきた「ガラは悪いが、腕は良い。」からコンセプトを一新しました。52年間の活動を通して、高岡伝産が創った出会いが、地域・業種を超えて高岡に人を呼び、「多様なガラ」のチームになりました。産業観光の次のステージを目指して、高岡の伝統産業と異業種を織り交ぜながら、産地・高岡の総力を持って時代の課題に立ち向かいたいという想いが込められております。

アウトプットする活動が多かった近年と比較し、インプットする活動に力を入れていきます。楽しみながら成長する年にしたいと考えております。「人が他者のために何かをする・できる」ということは、まずは自

分の充実が必要だと考えております。会員自らが「何ができるか」を考え、学び、経験し充実させる一年にし、いつか所属企業や地元高岡の還元にしていきたいです。

●4月9日(水)総会が開催されました

高岡商工ビルにて総会が開催され、会員21名と来賓12名が参加しました。松原会長は今年度のキャッチフレーズ『伝産、総力戦』を掲げ、「地域や業種を超えて時代の壁に立ち向かっていきたい」と挨拶しました。

昨年に引き続き、「クラフトツーリズム」や「ツギノテ」内でのイベント「産業博覧会(かほり展)」に加えて、今年開催の「クラフトコンペ」内でも積極的に事業に参画する予定です。

〈今年度主要事業〉

産地交流事業、クラフトフェア「ツギノテ」産業工芸博覧会、高岡クラフトツーリズム



伏木商工業青年部会

会長 遠藤 孝

ヤマ自動車株式会社

高岡市一宮2-1-6 TEL44-5718
座右の銘：文武両道

伏木復興へ、前を向いて進もう!!

～地域の絆と誇りを胸に、未来を切り拓く～

昨年元日に発生した、能登半島地震。

私たちの活動の拠点である伏木も液状化等で多くの建物や住宅が、被害を受けており、解体され、生活していた住民の皆様が引っ越しを余儀なくされ伏木を離れざるを得ない事態となっております。

そのような中でも4月13日(日)に「伏木観光まつり」が2年ぶりにコミュニティーセンターにて開催されました。あいにくの天気ではありましたが、歌や踊りの発表、およそ20の出店が並び、多くの地元の方に来場いただきました。伏木復興が一步步ではありますが確実に進んでいると実感することができました。

今年度のスローガンは「伏木復興へ、前を向いて進もう!!」と掲げ、5月17日に伏木曳山祭、8月3日に

伏木港まつりが開催されることが決定いたしました。

今後も部会員が一丸となって復興が進むよう全力で取り組んでまいります。関係各所の皆様には一層のご支援、ご協力を賜りたく、今後ともよろしくお願いいたします。

●4月8日(火)総会が開催されました

「近藤宗(伏木錦町)」で総会が開催され、16名が出席しました。遠藤会長は「伏木地区の国登録有形文化財の公費解体が決まった他、近隣の住居解体も進む光景を見ると断腸の思いだ。しかし同時にインフラの正式復旧工事も進み、復興への歩みも確実に進んでいる。必ず伏木はかつての活気を取り戻せると信じ、その一助となる活動を進めていきたい。」と抱負を述べ、部会一同結束を新たにしました。

〈今年度主要事業〉

能登半島地震被災復興に係る事業

PHOTO LIBRARY



新社会人のつどい

新社会人が社会人の心構えを学ぶ

新社会人のつどいが高岡市生涯学習センターホール（ウイング・ウイング高岡）で行われ、高岡市内の28事業所から、新社会人99名が参加した。先輩の体験発表では、株式会社 広上製作所の山岡 桜子さんが社会人になってからの経験を話した。その後、イオンモール株式会社 イオンモール高岡 ゼネラルマネージャーの宮嶋 佐知子 氏による「大人って未来だらけ」と題した講演とビジネスマナー講座があり、参加者は社会人としての心構えを学んだ。



たかおか朝市

地元の野菜、雑貨求めにぎわう

今年最初のたかおか朝市が坂下町通りで行われ、地元の農産物や雑貨などを買い求める家族連れらでにぎわった。オープニングセレモニーが行われ、たかおか朝市実行委員会の酒井委員長は「今年は45周年を記念して9月28日に特別出店を予定しているのでお楽しみに」とPRした。朝市は10月まで毎月第2・第4日曜日に開催され、市営御旅屋駐車場は、午前5時半～8時まで期間中無料。また、朝市開催日は「朝市電車」も運行しており、利用者にはRACDA高岡のサービス券（200円）が進呈される。



伏木観光まつり

復興願い、2年ぶりの開催で多くの人で賑わう

伏木の春の恒例イベント「伏木観光まつり」が「震災からの復興」をテーマに、伏木コミュニティセンターで開催された。昨年は能登半島地震を受けて中止となったが、今年の会場は多くの人で賑わった。

芸能発表には約10団体が出演し、目玉の一つの地元消防団によるはしご乗りと木遣り唄のパフォーマンスで「がんばろう伏木」の垂れ幕が掲げられると、会場は拍手に包まれた。マルシェでは、弁当やスイーツ、手作り小物など約20店が出店し、多くの来場者で地域に活気と笑顔が広がる一日となった。



まちづくり常任委員会講演会

他市事例から「空き家活用」を学ぶ

まちづくり常任委員会では、空き家コンサルタント「空家活（アキカツ）」の吉田 大地 氏を講師に迎え、高岡市・射水市内での空き家活用の事例紹介とともに活用方法を学んだ。空き家をリノベーションし、「釣り人シェアハウス」や「芸術学部生用のアトリエ付シェアハウス」などに活用している実績を持つ吉田氏は、「空き家の活用がその町の魅力発信につながり、その先に町の活性化がある」と話し、効果的な活用の重要性を強調した。



クルーズ船「ノールダム」が伏木港に寄港 今年度初の入港

オランダ船籍の豪華クルーズ客船「ノールダム」が伏木万葉ふ頭へ寄港した。欧米を中心とした乗客約1900名が上陸し、ふ頭ではマスコットの利長くんや地域おこし協力隊の隊員などが出迎えた。また、伏木地区の経済団体が構成する新風会が伏木の土産品を販売したほか、市内の団体がワークショップなどを行った。乗客は国宝である瑞龍寺や勝興寺をはじめとした県内外の観光地を巡るバスツアーに参加した後、次の経由地である秋田市へと向かった。



瑞龍寺ライトアップ 光と歴史の幻想美

国宝瑞龍寺を舞台に、春の特別夜間拝観「光彩陸離」が開催された。今季は例年の3日間から大幅に日数を延長し、14日間にわたって実施。ライトアップと幻想的な音楽が織りなす演出により、大伽藍は荘厳かつ幻想的な雰囲気にも包まれ、来場者はその美しさに見入っていた。大茶室には、富山県内で初展示となる高さ約3メートルのジャイアントフラワーが設置され、フォトスポットとして多くの来場者の注目を集めた。このほか、「美濃和紙」を用いた「美濃あかりアート」の展示など、会場は多くの人で賑わいを見せた。



ジェトロ貿易実務講座

貿易実務の体系や主要な貿易書類について学ぶ

これから輸出を検討されている事業所や貿易業務に関わって間もない方などを対象に海外展開セミナー「ジェトロ貿易実務講座 基礎編」を開催し、21名が参加した。講師のグローバルビジネスアカデミー代表 村上 元男 氏からは海外取引の実務として、貿易手続きの流れや輸送、決済、通関など貿易実務全般について説明があり、受講者は理解を深めた。前日には輸出貿易の基礎知識として国内取引との違い等を解説する「はじめての貿易編」を富山会場で実施している。



松楓殿にQRトランスレーター 音声ガイドを設置しました！

松楓殿に、高峰讓吉博士の功績を紹介するQR音声ガイドを設置しました。スマートフォンでQRコードを読み取ると、文字と音声でわかりやすくご案内します。令和7年度には英語・中国語のガイドが追加される予定で、観光やインバウンド対応としての利用が期待されています。ぜひご活用ください。

【問合先】

高岡商工会議所 商工観光課 TEL 23-5002

